

△産業宣教 祈りの主役になった重職者産業人(使 12:1-25)	△レムナント伝道学 レムナントのタラント (Ⅱテモ 3:14-17)	△核心 伝道のやぐらから作らなければ(使 1:3)	△散らされた弟子たち 宣教のやぐら(使 11:19-30)						
<p>重職者産業人は祈りに関しては主役になるべきだ。</p> <p>□序論_金土日時代</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 団体が次世代霊性教育をきちんとしている。</li> <li>ムスリムの次世代霊性教育一日五回ずつ祈り。地球 3 分の 1 掌握</li> <li>仏教の Temple Stay</li> <li>籠山教、(仙)タイム「単語」-籠山教でも仙タイムという集いで 3 分の 1 が青少年だった。繰り返された教理唱、一時間程度祈り、一単語を持って集中繰り返して終わる。変化が起こる。</li> <li>すべての学校-瞑想すべての学校に合法的に瞑想運動が入り込んだ。</li> </ol> <p>□本論_新しい体験</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>産業人自身のための金土日時代を開かなければならない。       <ol style="list-style-type: none"> <li>カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間に起こったことを実際に祈りで味わわなければならない。実際の問題があるとき、この目で再解釈をしなければならない</li> <li>1・3・8(こと)-神の国のことが今、臨んでいる。レムナントが礼拝のとき、難しいとき、少しだけ祈れば、このことが成り立つ。</li> <li>使 1:14、2:1-18、2:42-45、46-47 契約を握って祈りに専念したところ、五旬節の働きが起り、未来が見えて、礼拝が生かされた。予算が解決されて、みことばが現場に行くしかない。</li> </ol> </li> <li>危機(機会)-危機を見る目が変わる。       <ol style="list-style-type: none"> <li>大患難(使 11:19)-逃げないでかえって集まった</li> <li>投獄(使 12:1-23)使徒が投獄されたとき、重職者がワッネスで祈り</li> <li>事件(使 12:25)-監獄からペテロが解放され、神様がヘロデ王を呼んで行かれた</li> </ol> </li> <li>次世代-未来と次世代のための時間を持つべき       <ol style="list-style-type: none"> <li>次世代に祈りの奥義が伝えられるべき</li> <li>専門性</li> <li>聖書の最も重要な単語レムナント</li> <li>TCK - TCK のがしてはいけない。神様は TCK を用いられた</li> <li>やぐら-霊的やぐらを作らなければならない。</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論</p> <p>Priority 霊的な力を受けることが優先だ。</p> <p>答え 礼拝をささげるとき、答えを受けることまでが基準だ 刻印(永遠) - 「これからこの契約を握って祈らなければならない」答えを受ける瞬間に刻印が起こる。刻印は永遠に続く 根(実) - 時間が過ぎれば根をおろす。根をおろしただけ実を結ぶ。 体質(運命) - ある日、運命がひっくり返る決定になる。</p>	<p>□序論_正確なタラントを発見したユダヤ人</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>三冊の本ですべての状況を見る。私たちは聖書から RT7 人、彼らを育てた指導者、両親、助けた人々を学ぶ</li> <li>偉人の話、会わなかったが刻印</li> <li>三つの祭り、家族が作って守る。実際の内容確認</li> <li>安息日、命のように、成功、失敗。礼拝と祈り</li> <li>タラント確認、成人式。専門家メンター、資金。ただ</li> <li>会堂につなげる、専門性を教える。唯一性</li> <li>ロッジにつなげる、現場性を教える。再創造を見つけること</li> </ol> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>DNA 生まれながら持って出てくる素質       <ol style="list-style-type: none"> <li>Ⅱテモ 1:1-4 両親の長所を握るべき</li> <li>Ⅱテモ 2:1-7 自分自身が霊的兵士、競技する者、農夫。24</li> <li>Ⅱテモ 3:14-17 刻印されたことで終わりの日の苦しみに勝つ</li> </ol> </li> <li>天才 まことの力は上から与えられる       <ol style="list-style-type: none"> <li>ヨハ 19:30 キリストが、すべてを終わらせた。神様の力によって</li> <li>使 1:1-8 が、まことの天から受ける力。</li> <li>使 2:1-18 の力で世界を変えるべき</li> </ol> </li> <li>御座から来るタラント霊的 DNA。英才       <ol style="list-style-type: none"> <li>Ⅱコリ 5:17 新しい被造物</li> <li>ガラ 2:20 私の中にキリスト</li> <li>ピリ 3:1-21 御座の力、天の国籍、召された報い</li> </ol> </li> </ol> <p>△実践できなくても、聞いて、答えを見つけて刻印</p> <p>□結論_リズム</p> <p>祈り、勉強のリズムになってこそ成功が始まる。霊的リズム備えれば、いやし、サミット、答え。人々に福音と答えを与えることを 70 人影響と言う</p>	<p>祈り、礼拝するとき起こること-礼拝と祈りはすべてのこと</p> <table border="1" data-bbox="1070 272 1794 379"> <tr> <td>Trinity 内住、働き</td> <td>御座の祝福 9 つ+御使い (詩 103:20-22)</td> <td>暗やみ縛る+ サタンの権力が打ち碎かれる働き</td> </tr> <tr> <td colspan="3">3 時代一刻印</td> </tr> </table> <p>「伝道のやぐら」から作りなさい。</p> <p>□序論_答えから先に受けること、私にともにおられることを言うことが伝道 光、やぐら、見張り人-私たちに創造の光、いのちの光をくださったので、味わってやぐらを立てれば見張り人になる。</p> <p>「祈りのやぐら」-伝道のやぐらの始まり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>マタ 10:1-42 訪問伝道-限界がくる。</li> <li>使 2:1-47 各家で起こったタラップン運動→ 3 千弟子運動</li> <li>使 9:15 やぐらを作り始めたパウロ 使 9:15 異邦人とイスラエルと王たちの前に運ぶ選びの器という契約を握った 使 13:1-4、16:6-10、19:1-7 最初のやぐら-伝道する前に常に答えから受けた 使 13:5-12、16:16-18、19:8-20 いやし使 17:1、18:4、19:8 1 人 使 19:21、23:11、27:24 ローマ 16 章の働き人をパウロに付けられた。</li> </ol> <p>△みなさん 1 人が力を受けて生かされて答えを受け始めれば、みな生かされる。 この祝福(上の表)は常に味わって幸せでなければならない。すると、問題が問題でなく答えに見える。味わって信仰を待ちなさい。</p> <p>□本論_初代教会が作ったやぐら</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>タラップン       <ol style="list-style-type: none"> <li>MH -家 2) RUTC -次世代、レムナントを育てなさい。</li> <li>地教会-難しい人々を助ければ訪ねて来るようになっていく。 24・25・00 のやぐらを立てなさい。</li> </ol> </li> <li>始まりになるやぐら       <ol style="list-style-type: none"> <li>使 2:41-42 3 千弟子が来るしかないやぐら</li> <li>使 3:1-12 神殿の美しの門の足なえを立て起こしたこと</li> <li>使 6:7 反対する祭司がみことば運動を悟ったこと</li> <li>使 7:1-60 すべてのメッセージを伝達して死んだステパノ-やぐらを立てたこと。アンテオケ教会</li> <li>使 8:4-8 サマリヤに建てたやぐら WITH, Immanuel, Oneness のやぐらを立てなさい。困難が来たのか。それが答えだ。</li> </ol> </li> <li>関係       <ol style="list-style-type: none"> <li>使 8:26-40 エチオピアの宦官 2) 使 9:1-15 アナニヤとパウロ</li> <li>使 10:1-45 コルネリオの家で作られる OUR システム</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_教役者、重職者、RT -世界のやぐらを立てなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>すべての種族 2. 万民 3. 地の果てまで行きなさい。実際の 237 か国に行くことができるのは、これ(上の表)で行く。</li> </ol> <p>祈りとは-天と地のすべての権威をわたしが持った。御座に座した主とともに。他のことではできず、ただ聖霊で地の果てまで証人となる。</p>	Trinity 内住、働き	御座の祝福 9 つ+御使い (詩 103:20-22)	暗やみ縛る+ サタンの権力が打ち碎かれる働き	3 時代一刻印			<p>□序論_宣教のやぐらの始まり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>すべてを受け入れ、超越して少数の弟子に集中 (神様が備えられた者) 使 16:15 ルデヤ、17:6 ヤソ、使 19:8-9 別に立てた弟子</li> <li>いやしのやぐら キリストの奥義を持ってその人いやしすることができる神様のタイムを見ること 使 13、16、19 その人、地域</li> <li>やぐら中のやぐらが人材やぐら 使 17:1、18:4、19:8</li> </ol> <p>□本論_宣教やぐら時刻表</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>患難でなく、神様が作られる事件を見ること 使 7:1-60、11:19、12:1-25</li> <li>パウロとバルナバ-神様が備えられたキリストの弟子に会うこと 使 11:25-26、使 13:1-4、13:12 バルナバの故郷へ、弟子の大きい群れが集まる。初めて宣教師派遣。この事件を総督がみな見たこと</li> <li>マケドニヤ-神様がくださるターニングポイントは葛藤のように来る。 使 16:6-10、準備 神様が門を閉じられたのではなく、ターニングポイントに行きなさいということ。あちこちに神様が弟子を備え</li> </ol> <p>□結論_以降のやぐら</p> <p>書簡伝達 (多くの副教役者を立てること) みことばで十分な弟子が起こる</p>
Trinity 内住、働き	御座の祝福 9 つ+御使い (詩 103:20-22)	暗やみ縛る+ サタンの権力が打ち碎かれる働き							
3 時代一刻印									

△区域メッセージ (第 14 週) ともに歩む確信と 25 の答え (マコ 3:13-15)	△聖日 1 部礼拝 神様がくださった緊急なお知らせ (ロマ 5:8)	△聖日 2 部礼拝/いやし福祉委員会献身礼拝 やらなければならないこと (使 8:4-8)						
<p>目に見えるものは時空を超越することができないので確実ではない。神様は目に見えない。偶像崇拜する人々は空間に捕えられて悪い霊に捕えられるようになる。「ともに歩む確信を持っただけ 25 の答え」が来る。イエス様はお望みになる者と呼んで伝道もして、悪霊を追い出す権威も与えられた (マコ 3:13、14、15)。</p> <table border="1" data-bbox="107 363 761 427"> <tr> <td>刻印</td> <td>根</td> <td>体質</td> </tr> <tr> <td>答え-永遠</td> <td>実</td> <td>運命</td> </tr> </table> <p>△必ず刻印されたことが答えが来る。キリストで刻印されるには、礼拝をささげなければならない。また、深く根をおろすだけ実がなる。体質になったことは運命を変える。みな刻印・根・体質になるので、キリストでなければ解決しない。</p> <p>□序論</p> <p>1. マタ 4:19 「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」</p> <p>2. マタ 28:16-20 「天と地の権威を持っていつもともにいます」これが刻印・根・体質になる。このとき、驚くことが起こる。</p> <p>3. マコ 16:15-20 「御座に着かれた主がともにおられれば悪霊が追い出されて、病気の者に手を置けばいやされる」</p> <p>△1・3・8 -イエスが 1・3・8 で結論を出して行かれた。 → 24・25・00 になるとき、キリストが、ただ、だ。 →ただ、唯一性とそれを生かす再創造の答えが来る。 →神様がともにおられる WITH、神様が教会と私たちともにおられる Immanuel、全部 Oneness の祝福が見える。ここまでが、ともに歩む答えだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. WITH -どこにいても関係ない。</p> <p>1) ヨセフ-三位一体の神様がいつもともにおられた。</p> <p>2) <u>三位一体</u>-この祝福をヨセフはずっと味わった。</p> <p>3) 応答、無応答-応答も無応答も答えだ。神様がともにおられるので答えだ</p> <p>2. Immanuel-誰に会っても関係ない。 <u>ダビデ</u></p> <p>1) 霊的システムだけ備えれば、すべて出会いの祝福と答えとして訪ねて来る</p> <p>2) そのときから、教会に行けば試みにあうのに、教会の答えが来る。</p> <p>3) 教会に行くとき、証人として行って、証拠を持って行く。</p> <p>3. Oneness -どんなことがあっても大丈夫だ。</p> <p>1) あらかじめすべてのことを働かせて益とされるのに、このときから、あらかじめ見るようになる。</p> <p>2) 道-全部みな神様のみこころを成し遂げる祝福の道になる。</p> <p>3) すべての事件-すべての事件の中で Oneness が見える。</p> <p>□結論 <u>ペリ 3:1-21</u> 平安 (答え) ここで本当に平安を味わって、感謝を回復すれば、これが刻印、根、体質になってすべてのいやしが起こる。</p>	刻印	根	体質	答え-永遠	実	運命	<p>□序論 光</p> <p>1. 強大国 (サタンに捕えられて) 1) 戦争をいつも起こすので 2) 孤児がたくさん生じて 3) 大量死が起こった。</p> <p>2. イスラエル 1) 滅亡直前 (70 年滅亡) 2) 福音がない。 3) 迫害 (初代教会-異端汚名)</p> <p>3. 霊的問題深刻 1) 精神病者がぎっしり埋まった 2) 次世代-緊急な状況 3) ローマの霊的問題を解決するためにパウロがこの福音を伝達した △私たちが完全に滅亡状態にいるとき、神様がキリストを十字架につけられ、神様の愛を明らかにされた。</p> <p>□本論 <u>礼拝決断-霊的 DNA (答え)</u> 礼拝するとき、契約を握って決断しなければならない。小さい決断でも充分だ。礼拝をささげるとき、霊的 DNA が変わる。礼拝のときに、契約を握って答えを得るのだ。</p> <p>1. 運命を変える霊的 DNA</p> <p>1) 永遠の前のキリスト (過去) -永遠の前に三位一体神様としておられたキリストが完全に過去に勝つようにされた。</p> <p>2) 受肉キリスト (受け入れ) -実際、その方が私に臨んだこと</p> <p>3) 復活されたキリスト (その御名) -今でもその御名で祈れば驚くべき働き</p> <p>4) 再臨主キリスト (未来) -私の未来まで責任</p> <p>5) さばき主キリスト (背景) -私の背景。さばいて天国または、地獄へ</p> <p>2. 現場 (現実) ひっくり返す霊的 DNA</p> <p>1) 3・9・3-私たちはここに座っているが、私たちの現場に 3・9・3 が臨むこと</p> <p>2) キリストによって神様と平和を味わおう (ロマ 5:1)。その栄光を見て喜び (ロマ 5:2)。神の国が臨む希望を持つこと (ロマ 5:5)</p> <p>3) そそぎ (満たし) -聖霊でそそがれるように求める。満たしだ (ロマ 5:5)</p> <p>3. 未来を変えて生かす霊的 DNA</p> <p>1) RT 7 (あらかじめ) -この祈りをして未来があらかじめ見えた。</p> <p>2) 確信-患難のうちに喜び、喜びのうちに忍耐、忍耐は練られた品性を、練られた品性は希望を成し遂げるといふ答えを与えられる。</p> <p>3) 弱さ (ロマ 5:6) -弱さまでも神様は責任を負われる。 ローマにこの福音を伝えなければならないと、パウロがローマに行くことを切実に希望。福音は光であり、祈りで光を放つこと</p> <p>□結論</p> <p>1. 世界を動かす祈り</p> <p>1) 三位一体の神様の働き 2) 御座の力を味わう祈り 3) 時代-過去、現在、未来、霊的 DNA を変える祈り</p> <p>2. やぐら-私のプラットフォーム、見張り台、アンテナを作ることだ。</p> <p>3. 見張り人-明日あること、出会いを置いて少しだけ準備しなさい。 △今日の礼拝は今日一日の新しい恵みを受けることだ。これが続いて、ものすごい働きが起きる。</p>	<p>□序論 福祉、いやしをなぜしなければならないのか</p> <p>1. ヨセフ</p> <p>1) 病んでいた家庭だった。</p> <p>2) ボティファルの家もそうだった。</p> <p>3) 王に会う-全世界が病んでいる。ここでいやし福祉の働きをしたのだ。</p> <p>2. 危機</p> <p>1) エジプト戦争の試み 2) イスラエル-幼児殺害 3) ヨセフ-やらなければならないことをした。これを一番最初に見なければならない。</p> <p>3. 戦争 1) ハンナ 2) エッサイ 3) サムエル 4) ダビデがこのとき出てきた。</p> <p>4. 偶像国家 (I 列 18:1-15) -預言者 100 人を隠した。オバデヤは、やらなければならない契約を握った。</p> <p>5. 捕虜時代 (ダニ 1:8-9) -心を定めた。</p> <p>6. 属国時代 (1・3・8) -イエス様はこれを投げかけて行かれた。</p> <p>7. 未来 (使 19:8-20、19:21、23:11、27:24) -やらなければならないことを見た人を神様は用いられた。</p> <p>△今、私が必ずすべきことは何かを見つけなさい。新しい答えが始まるだろう。</p> <p>□本論 <u>必ずすべきこと</u> △礼拝時間に契約を握れば、六日間、答えが出てくるだろう。これが信仰生活だ。</p> <p>1. 各国から来た人々の国家問題、個人問題を解かなければならない。</p> <p>1) RT 2) TCK にいやさなければならない部分、サミットにする部分がある。 3) サマリヤ-AD722 に、アッシリヤに滅ぼされた。偶像に陥って霊的問題が来た状況なのに、これをいやした。 <u>隠されたこと</u>を解かなければならない。→キリストの中で自分の過去の傷を完全に解決されなければならない。</p> <p>△世界福音化のメッセージは韓国から出て行くが、世界福音化の畑はアメリカとヨーロッパだ。その人々がどれくらい神様の前で価値ある人々なのか見るのだ。外国から韓国に来ているレムナント、TCK に困難があるのかないのチェックしてみなさい。</p> <p>2. 病気のいやし-キリストが確実になった後に病気のいやしが起こる。</p> <p>1) 中風患者、悪霊につかれた者に 2) 集中した。</p> <p>3) みことばを心一つにして聞くので働きが起こった。</p> <p>3. サミットいやし</p> <p>1) 三つの国-世の国、サタンの国、神の国、必ず教えるべき 2) 創 1:27、2:7、2:18 これが私の中に、私のたましい、私の生活に臨むようにすべき 3) サミット-霊的サミット、技能サミット、文化サミット</p> <p>△金土日時代が開かれれば土曜日に集まって霊的なことを疎通しなければならない。</p> <p>□結論 <u>霊的リズム</u></p> <p>1. 祈り-祈りがいつも成り立つリズム 2. みことば-みことばの流れが見える。 3. 証人</p> <p>△神様がみなさんをご覧になるとき、この働きをする大切な人ならば、必要なものはそろえられる。契約を握りなさい。</p>
刻印	根	体質						
答え-永遠	実	運命						